

市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成27年8月20日（木）午後7時30分～9時
会場	六供町公民館
地域座談会の内容（意見交換等の内容等）	
<p>① ふるさと納税をPRして推進してもらいたいが、本市のメニューや実績はどうか。</p> <p>→ 今年度分でこれまで約2億円納めていただき、今後は少なくともあと2億円、最低4億円を見込んでいる。返礼品は、さくらんぼ関係が6～7割と高く、メニューは市のホームページに掲載し、農産物をはじめ軽部草履、佐藤繊維の製品等40種類の中から選んでもらっている。さくらんぼの後は、米が順調に推移している。本市の今年の実績では、返礼品や手数料等を差し引くと3割強が手元に残るようだ。ふるさと納税を通して、さくらんぼ以外にも地場産物をPRしていきたい。</p> <p>② 道路改良等において、歩道の拡幅は進んでいるが、自転車の安全確保対策はどうなっているのか。</p> <p>→ 歩道については、特に冬場の除雪時における通学等の安全確保のために、ある程度の幅員は必要になっている。街なかの整備では、建物を移動して道路全体を拡げることが困難な場合もあり、片側のみを歩道とするなど工夫を図りながら自転車の安全な通行も確保していかなければならない。</p> <p>③ 学童保育施設の第1から第3わんぱくの建設の工期をどうして2期に分けているのか。非効率ではないか。</p> <p>→ 国や県の助成制度があり、3棟をまとめて建設すると3棟分の助成が受けられず、2年にわたって建設すると受けられるという財政状況を勘案しての整備となっているのでご理解いただきたい。</p> <p>④ 市庁舎を他の場所に建設して、現庁舎は耐震工事を実施せずに別の利用法があったのではないか。</p> <p>→ 新たに庁舎を建設する場合は、国や県の支援制度というものがないが、今回市が実施した耐震化工事に対しては約半分の助成があった。また、庁舎を建てるとなると40～50億円くらいの高額な費用がかかり、財政的にも一朝一夕に判断</p>	

できるものでない。近代建築100選にも選ばれている建物でもあるから長く保存することを考えて耐震工事をおこなった。30年はもつだろうから、その間に新庁舎建設について検討していく。

⑤ 防災行政無線を使って、火災発生時にその場所を市民に知らせてもらいたい。また、ちえりーマルシェ等市のイベントについても同様に周知してもらいたい。

→ 火災等は、いつ何時起こるかわからず、お知らせするには、夜間や土日は職員がいないという体制の問題がある。ただ、日中であればコールは可能であり、寒河江祭りやさくらんぼまつり等全市的なイベントを防災行政無線を使ってPRすることは効果のあることだと思う。他の自治体の活用内容を参考にしながら基準等を作って実施に向けて検討していきたい。

⑥ 消防署の火災時の電話のコールを直接防災行政無線で流せないのか。地域の利用については、マニュアルでは町会長の判断でできるようになっているが、使い方がわかる町会長は少ないだろうから講習会を開催してもらいたい。また、この公民館の範囲には10数名の町会長がおり、どの町会長の判断なのかマニュアルではわからないので検討してもらいたい。

→ 消防のシステムを活用することについては、研究したい。地域の利用については、更に取り組を進めて、町会長の研修の機会を設け、その中で議論いただき考え方や基準等を作っていければと思う。危機管理室に準備させるので、要望いただき機会を作ってもらいたい。

⑦ 公民館として、夏祭りの開催を防災行政無線を使って周知したかったが、町会長の判断ということでできなかった。

→ 弾力的な運用を図るため、いろいろ意見を聞いて基準を作っていきたい。町会と公民館の単位が異なる場合が多いので、誰に権限を持たせるか等については、検討したい。権限等について一律に基準を作ることは困難であり、個別に作成する必要があるようだ。

⑧ 散歩コースとして長岡山を歩いているが、グラウンドから郷土館、成人病検査センター（桜の丘含む。）までが非常に荒れていて、日中でも一人で歩くのに抵抗がある。退職者のボランティア等を活用して管理できないものか。

→ 花咲か山構想を進めている中、ご指摘の点は、我々の気持ちと反対のことになっている。業者に管理を委託おり、手入れの回数を増やす検討も必要であるが、ボランティア等市民の協力についても考えていかなければならない。現在策定中の振興計画にも市民の山として利活用の面で反映させていきたい。

